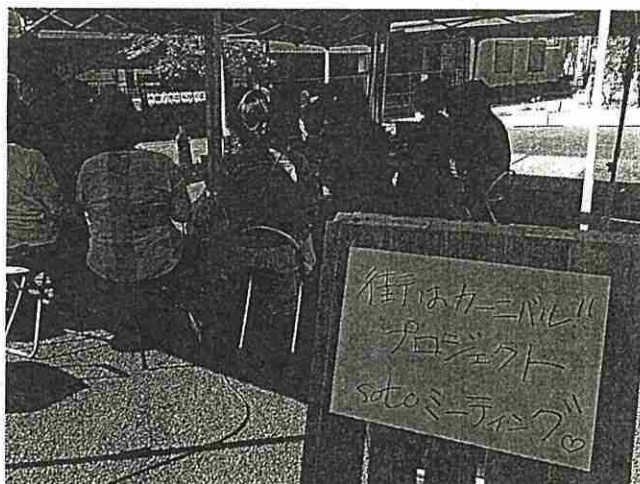


事業名 ((仮称) キャンドルアートまつり 改め かわにし音灯り)

団体名	街はカーニバル!!プロジェクト		代表	荻田雅仁	
協働団体					
活動地域	川西市内				
事業の目的・趣旨	<p>手作りキャンドルによるアート空間を、子どもから大人までともに作り上げる。初期段階からイベントの企画や準備を参加者で行うワークショップイベントを行うことにより、互いの信頼関係や敬意の心を育み、シビックプライドの醸成を図る。また中心市街地に完成した市民運営管理を目指す大型防災公園（キセラ川西せせらぎ公園）の利活用の周知を行う。</p>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●市内外を問わず周辺市町の学校、団体、市民グループ、企業などに手作りキャンドルアートの制作依頼を行い、当日の設営を含めた積極的参加を促す。イベント当日はゾーニング分けをし、各団体ごとのキャンドルゾーンを設けたい。 ●イベントの作りこみについては、年度初めより月一回以上の運営ミーティングを開き、その準備期間をもイベントとして活動を楽しむ。 ●この実践型ワークショップをより多くの県民に参加を促すため、SNS等を通じた呼びかけを行い、まちづくりの楽しさを共有する。 ●会場を奏でる音楽は、兵庫にゆかりのあるアーティストを招聘し、キャンドルの灯り（市民の想い）をより良く表現するパフォーマンスを実施する。 ●本イベントを開催する会場（キセラ川西せせらぎ公園）は、市民の主体性に重きをおき、市民による運営管理を目指している。これを中長期的ビジョンと捉えるところ、本イベントは次世代リーダー発掘の一助とする。 				
事業スケジュール	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）
	2019	5	28	事業詳細についての会議	14
		6	29	活動メンバーの募集（SNS等）	20
		9		協力（協賛）企業、学校への依頼	4
		8	31	試験的イベント開催	30
		10	25	イベント開催に向けた最終会議、準備	60
		11	9	かわにし音灯り開催	8000
		12	30	開催後のミーティング	60
	2020	2	18	活動成果の取りまとめ	20

事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ●公共空間（パブリックライフ）の住民による自主運営の契機 ●シビックプライドの醸成（まちは自分そのもの） ●少子化、人口減少対策に歯止めをかける北摂地域の魅力発信
課題及び今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ●つながりのイベント（かわにし音灯り）が周知され、次年度からは新しい世代を中心にした実行委員会形式でスタートします。さらなる参加者の拡大が期待されます。

(活動状況写真)



団体名 街はカーニバル!!プロジェクト

団体設立 平成22年10月18日

活動分野 まちづくり

設立目的 イベントの企画や準備を参加者で行うワークショップイベントを行うことにより、互いの信頼関係や敬意の心を育み、シビックプライドの醸成を図る。また中心市街地に完成した市民運営管理を目指す大型防災公園（キセラ川西せせらぎ公園）の利活用の周知を行う。

事業名 (学びを楽しむフェスタ 大和なでしこ)

団体名	ママコミュニティ∞サミット	代表	藤本美穂		
協働団体					
活動地域	伊丹市・川西市・宝塚市				
事業の目的・趣旨	様々な形で社会と接する機会を設け、結婚しても出産してもあきらめない輝くライフスタイルを提案できるよう地域交流会を中心により多くの人と交流し女性特有の地域社会の形成を行うことを目的とする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆母親が社会復帰するための学びの場を提供した(勉強会やセミナーなど) ◆何か一步を踏み出したい人のきっかけに気づくイベントを主催 ◆子供たちの自主性や社会性を育む機会を作った ◆地域交流会を定期開催することで学校区や市町を超えた交流を図るきっかけを作った ◆子育て中のママを中心に地域の幅広い世代との交流を図るきっかけを作った 				
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)	
				スタッフ	来場者等参加者
	2019	5	10	3	
	2019	8	2	3	15
	2019	8	31	3	330
	2020	2	13	3	4

事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆女性を中心とした社会参画 ◆地域交流の機会を創出 ◆子育て支援からの自立 ◆公共空間のにぎわいと活力の創出 ◆子供たちの自主性・社会性の向上
課題及び今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ◆活動の継続をするためにママ世代だけでなく多世代が交流できる工夫 ◆子供たちが自主的に学び活動できる場と仕組み作り ◆地域交流の機会を増やすことで地域の中に眠る技術や人材の発掘

(活動状況写真)

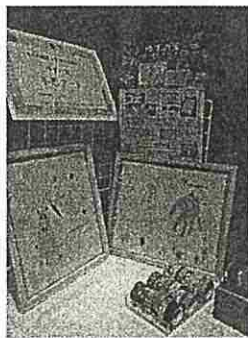


8/2 出展者交流会



2020/2/13 成果とりまとめ、次年度計画

8/31 学びを楽しむフェスタの様子



団体名 ママコミュニティ∞サミット

団体設立 西暦 2015年6月11日

活動分野 男女共同参画社会の形成、子どもの健全育成、職業農六の開発・雇用機会の拡充

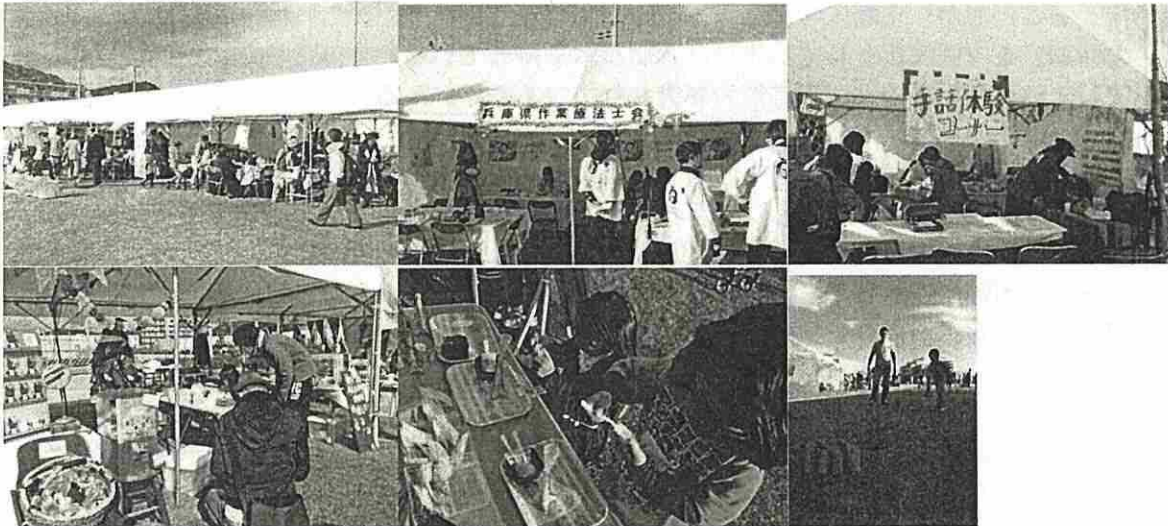
設立目的 本会は、様々な形で社会と接する機会を設け、結婚しても出産してもあきらめない輝くライフスタイルを提案できるよう地域交流会を中心により多くの人と交流し女性特有の地域社会の形成を行うことを目的とする。

事業名	(せせらぎ未来市場)
------------	--------------

団体名	ママの働き方応援隊 阪神北校	代表	二岡美樹子
協働団体			
活動地域	川西市		
事業の目的・趣旨	<p>伊丹市、川西市、猪名川町で活動する子育て中の母親たちを中心に、北摂の玄関口である川西市に完成した「キセラ川西せせらぎ公園」に、多世代の強みを生かせる場となる市場を開催する。</p> <p>子育て中の母親だけではなく、様々な世代の交流の場とし、また、川西市、猪名川町、伊丹市のみならず、近隣の市町村（箕面市、能勢町、宝塚市など）も巻き込み、各市町村の地域財源を集結させ、「ひと」の出会いや経済交流を育むイベントを開催する。</p>		
事業内容	<p>◆市民に愛される公園をコンセプトとして完成した「キセラ川西せせらぎ公園」にて、多世代、他地域の強みや地域財源を活かした「せせらぎ未来市場」を開催。</p> <p>◆ソーシャルネットワークなどを活用し広く参加住民を募り、「せせらぎ未来市場」の形を検討するミーティング（月1回程度）を開きながら交流の機会を重ね、ミニイベントを開催。</p>		
事業スケジュール	実施日（年-月-日）	事業概要	参加人数（人）
	R1 6 29	事業詳細についてミーティング	10
	R1 7 8	4市町住民・事業者等メンバー募集（SNS等）	12
	R1 8 19	スタッフ交流会	6
	R1 9 21	地域資源活用した青空ミニシアター(雨天中止)	0
	R1 10 3,4	イベント開催に向けた最終会議、準備	30
	R1 11 9	せせらぎ未来市場 開催	1000
	R1 11 30	振り返りミーティング	6
	R2 2 12	活動成果の取りまとめ	5

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆公共空間の住民による自主運営 ◆地域愛の醸成 ◆阪神間をつなぐ、ひとのネットワークづくり ◆地域資源（ひと・モノ）の相互理解と協調 ◆少子化、人口減少対策に歯止めをかける北摂地域の魅力発信 ◆子育て世代、シニア世代の自立の一步を応援することにより、地域活性化を図る
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>今年度は多世代の方に関わっていただくことができたので、次回よりは関わる人たちが自発的に行動できる仕組みをつくり、やりたい人がやりたいこと事とやりたい時に楽しみながらできるものを目指していきたい。</p>

(活動状況写真)



団体名

ママの働き方応援隊 阪神北

団体設立 平成 25 年 4 月 1 日

活動分野 女性の働き方

設立目的 女性が出産後も働き続け社会参加できるように、地域の中に保育や仕事への参加のためのインフラを整え、併せて雇用機会の創出にも取り組み、もっと潜在している女性の力を活用することにより、日本経済の活性化に寄与することを目的とする。

事業名

(かわにし@まちの保健室 ③健康相談事業(個別相談・分科会補助・出張保健室))

団体名	Medical * コンシェルジュ	代表	乾 雅美/林 信子
活動地域	兵庫県川西市を中心とした北摂地域		
事業の 目的・趣旨	<p>少子超高齢化が進む現在の日本社会において、人生100年時代を迎えるにあたり、『健康』とは、国力であり国の資源として捉えることができる。情報が溢れる今日、誰もが簡単に医療情報を手に入れられるようになった反面、かつては医療の対象ではなかった『状態』が医療の対象となってきた。例えば、出産・肥満・死だけではなく、落ち着きがないこども、感覚過敏、発達凸凹、性格特性、家庭の養育環境により、学習に困難を抱えるこどもが、多動・学習障害と診断されるようになった。これは、背景にある『社会の問題』を『医療化』してしまい、人間が本来持っている、自分たちで問題に気づき、解決していく力やその環境適応能力が失われつつあるといえる。</p> <p>そこで、自分の健康を維持・回復したり、動的に変化させる力に注目すべきである。健康を『環境に適応してセルフマネジメントできる力』として捉え、健康を『状態』とせず『個人や社会で変化させられ備えられる能力』として捉え直すことが求められる。よって、困難に直面しても、自分自身でうまく対処できるように、質の良い情報に触れ、学習でき、意思決定や日常生活行動を自分自身でコントロールできることが望ましいと言える。</p> <p>医療従事者は、健康とはいえない状態から疾病に移行させないために『予防の観点』から、人間が本来持っている免疫機能や適応能力を最大限発揮できるように、地域で関わる必要がある。役割としては、自分自身で人生や環境・生活をコントロールできるように、地域で個に寄り添いサポートすべき時にきている。『まちの保健室』は、ひとりひとりが行動と環境をコントロールできる『高いヘルスリテラシー』を身につけられるように、より個別性の高い知識や情報を提供し、自分の健康を自分で選べるようにサポートすることを目的としている。</p>		
事業内容	<p>① こども事業部 幼児期子育てセミナー 就学における児童サポート 学童期 発達・成長・学習障害セミナー 母親座談会</p> <p>② シニア事業部 認知症予防セミナー・啓発活動 生活習慣病・姿勢・運動セミナー 介護・要介護認定アドバイス 社会福祉協議会・地域包括支援センターとの連携</p> <p>③ 健康相談事業部 個別お困りごと相談室 分科会サポート(鍼灸・アロマ・絵画・引きこもり・発達凸凹などセラピー補助) 出張まちの保健室 イベント参加、連携施設訪問による広報活動</p>		

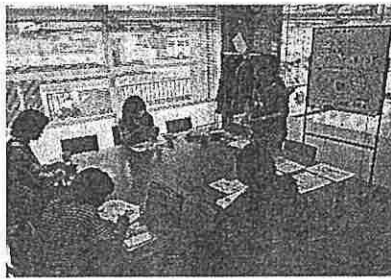
	実施日 (年-月-日)		事業概要 ③健康相談事業 について	参加人数 (人)		
				スタッフ	来場者等 参加者	
事業 スケジュール	2019	04	05	Blue Day フラッグづくり	4	10
			05	今年度運営全体会議	4	
			12	お困りごと相談室 2件 (林)	3	2*
			15	『色ぬりの会』 絵画セラピー 2名 (林)	2	4*
			19	川西市社会福祉協議会 訪問 (林)	1	
			22	川西市社会福祉協議会 訪問 (林)	1	
			23	男女共同参画会議 パレットフェスタについて (林)	2	多数
			25	『新学期の不安にお答えします』 3組	3	10
			25	お困りごと相談室 2件 (林)	1	2*
	05	10	10	お困りごと相談室 2件 (林)	1	2*
			10	5月期運営会議	4	
			13	『アロマクラフトカフェ』 アロマセラピー 2名	1	4*
			14	小会議	3	
			14	川西市北地域包括センター 面談 (林)	3	6
			17	男女共同参画センター 助成金講座 受講 (林)	1	20
			21	『色ぬりの会』 絵画セラピー 1名	1	2*
			23	『香りとメンタルケア』 4組	4	10
			23	6月期運営会議	4	
			28	川西市中央地域包括センター 面談 (林)	1	
			30	川西市役所面談・書類提出 (林)	1	
	06	04	04	『アロマクラフトカフェ』 2名	2	2*
			07	『色ぬりの会』 2名	2	2*
			07	お困りごと相談室 2件 (林)	1	6*
			11	川西市社会福祉協議会 審査選考会 (林)	2	多数
			14	7月期運営会議	4	
			20	出張保健室『虫歯予防』 鶯谷自治会館 7組	2	15
			27	『発達凸凹・学習のつまずき』 中止延期		
			27	相談室・川西市役所取材	4	6
			29	男女共同参画パレットフェスタ①出張保健室 (林)	2	多数
			30	男女共同参画パレットフェスタ②出張 (林)	3	多数
	07	01	01	出張保健室『認知症予防10か条』 (林)	1	30
			05	お困りごと相談室・小会議 (林)	2	
			07	『かわにしウェルネスマーケット』 (林)	3	多数
			10	『メディカルアロマ』 アロマセラピー	1	4*
			12	8月期運営会議	3	
			13	出張保健室『住生活から考えるこどもの発達』 (林)	1	10
			25	『発達凸凹・学習のつまずき』 7	4	10
			25	お困りごと相談室 6件 (林)	1	6*
			26	とよなかこどもフェスタ (林)	1	多数
	28	出張保健室『発達凸凹支援』 講演会	1	多数		

08	02	『色ぬりの会』夏休み kids チャレンジ	1	6 *
	02	『レジリエンステスト』(林)	1	4 *
	04	出張保健室 とよなかまつり	1	6 *
	09	お困りごと相談室 1 件 (林)	1	1 *
	09	9 月期運営会議	3	
	22	『口は健康の入り口』 7 組	5	1 2
	22	お困りごと相談室 6 件	5	6 *
	23	男女共同参画セミナー受講 (林)	4	3 0
	09	06	『色ぬりの会』(林)	2
06		かわにし子育てフェスティバル会議 (林)	2	多数
13		1 0 月期運営会議	4	
25		出張保健室 『発達凸凹カフェセミナー』	1	1 0
26		『東洋医学と女性の更年期・月見鍼』 7	5	1 0
26		お困りごと相談室 4 件 (林)	1	4 *
28		出張保健室 住生活フェア① (林)	1	多数
29		出張保健室 住生活フェア② (林)	1	多数
10		04	『色ぬりの会』	2
	04	お困りごと相談室 2 件 (林)	1	2 *
	11	『メディカルアロマ』 2 組	4	4 *
	11	お困りごと相談室 1 件 (林)	1	1 *
	11	地域包括センター訪問 (林)	2	
	18	かわにし子育てフェスティバル会議② (林)	2	多数
	24	『認知症と 1 0 の予防策』 4 組	4	1 0
	24	1 1 月期運営会議	4	
	26	出張保健室 伊丹市『認知症予防』(林)	1	1 0
	27	かわにし Family Halloween 協賛・出展	1	多数
11	01	『色ぬりの会』 1 名	1	1 *
	01	お困りごと相談室 1 件 (林)	1	1 *
	02	RUN 伴川西 認知症予防啓発イベント	5	多数
	08	メディカルアロマクラフト・市役所取材	4	1 0
	10	かわにし子育てフェスティバル 出展 (林)	3	多数
	15	男女共同参画セミナー 会計講座受講 (林)	1	
	24	『愛着障害について 米澤好史』(林)	1	
	28	『誤嚥性肺炎について』 7 名	4	1 0
	28	お困りごと相談室 1 件 (林)	4	1 *
	30	かわにしクリエイイトフェスタ パネル出展 (林)	3	7 0 0
12	06	お困りごと相談室 3 件 (林)	1	3 *
	06	1 2 月期運営会議	4	
	09	男女共同参画『場作りセミナー』パネラー出演 林	2	2 0
	13	『もの忘れ対策スプレー』 4 名	4	1 0
	13	お困りごと相談室 2 件 (林)	1	2 *
	13	年末反省会	4	
	17	チラシ仕分け①	2	

2020	18	チラシ仕分け② (林)	4			
	19	市役所チラシ提出 (林)	2			
	01	10	お困りごと相談室1件 (林)	1	1*	
		10	1月期運営会議	4		
		16	伊丹きららホール 出張保健室セミナー (林)	1	10	
		19	伊丹きららホール 出張保健室セミナー (林)	1	10	
		22	まちの保健室主催 報告写真撮影講座開催	4	20	
		23	『就学前準備について』4組 市役所視察	4	10	
		23	2月期運営会議	4		
		31	市役所チラシ提出 (林)	2		
		31	男女共同参画センター利用説明会 (林)	1	50	
		02	03	西宮 目の学校 藤田トレーナー 打ち合わせ (林)	1	1
			07	3月期運営会議	4	
			14	もしバナカード 模擬体験会開催	4	10
			22	『認知症予防セミナー』伊丹 出張保健室 (林)	1	10
			27	『足育講座 外部講師 黒田』6組	4	10
			27	次年度計画 会議	4	10
		03	06	『色ぬりの会』1組	1	1*
			06	お困りごと相談室1件 (林)	1	1*
			13	お困りごと相談室 新型コロナ感染予防のため中止		
			14	出張保健室 新型コロナ感染予防のため中止		
			21	カウンセラー協会セミナー 中止		
			24	男女共同参画センター キャンセル処理 (林)		
			26	年度末事業運営会議 中止 キャンセル処理 (林)		
			27	男女共同参画センター会議 中止 キャンセル処理 (林)		
			30	川西市役所 書類提出 (林)		
			31	川西市役所 書類訂正 (林)		
			31	事業完了日		
	*参加費徴収 1,000円×84名					

事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ① 行政窓口より、より個別に沿った相談支援が、リピート率に繋がっている。 ② セミナーから個別相談へ、個別相談からセミナー参加へと相乗効果が得られた。 ③ 子育て・仕事・生活環境・家族など、個人の人生の困りごとに寄り添い援助できた。 ④ 医療従事者による個別健康教育により、病院に罹らなくても質の高いヘルスリテラシーが共有でき、個人に合わせて実践しやすい内容を提供できた。 ⑤ 自分の健康は自分で守りコントロールできるエンパワメントを地域に啓蒙できた。
課題及び今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ① デリケートな問題が多く、プライベートスペースになりがちで拡散しにくい。 ② 病院や薬に頼らない健康維持活動を地域の開業医なども巻き込み連携できると望ましい。 ③ 次年度は、外部講師を招くことで知見をより深め、拡散作用を工夫する。 ④ 健康志向企業へのアプローチにより、宣伝効果と合わせた資金調達方法を検討する。 ⑤ 平日日中働きに出ている大人（女性）が多く、開催日時を考慮する必要がある。

(活動状況写真)





かわにし@まちの保健室

今!! 困っている...
話を聴いて! に寄り添います

(参加費) 1日30分 1,000円

まちの保健室セミナー

- ナースの家庭医学
- 歯とお口の健康
- 東洋医学とツボ
- メディカルアロマセラピー
- 発達凸凹お役立ち情報 など

第4木曜日
10:30 開講
【参加費】各回1,000円
【材料費】各回1,000円

地域で親子育て街育て

医療系の専門職がそれぞれの強みを生かし、病院から地域に足を移し、地域で連携ネットワークを広く構築する。

女性と子供のための支援がシニア世代を巻き込んだ「元気な未来のまちづくり」の活動につながることを目指します。

お困りごと相談室

健康・発達について医療従事者がお困りごとの相談をさせていただきます。お気軽にどうぞ。

第2金曜 10:30-12:30
第4木曜 イベント終了後 14:00

メンバー紹介

- 看護師・心療カウンセラー
は 橋本 (発行人)
10年以上のママと子どものカウンセリング経験をもとに、医師の視点から健康・発達・子育て相談を行います。
「ママと子どもの保健室」代表、日くじママの執筆者。
- メディカルアロマセラピスト・自然療法士
松 賀美 (代表)
ママを支援の活動者さん！メディカルアロマでおうちでアロマセラピー18年、日くじママ「Herbalist」は10月日
- 鍼灸師 廣津 秋子
ママを育てるほほおび「ひるせりほろろ院」院長
- 歯科衛生士、経絡セラピスト 坂井 あゆみ
歯科衛生士歴30年、口腔ケア歴10年。
「家庭の口腔ケアと歯と唇の健康」をお伝えします
- 発達障がい支援コーディネーター 名木田 裕子
地元に戻った主婦の経験と医療者目線でみなさんの「サポート」に全力を尽くします

2019年度イベント年加スケジュール

4月25日(木)・5月23日(木)・6月27日(木)
7月25日(木)・8月22日(木)・9月26日(木)
10月24日(木)・11月28日(木)・12月13日(金)
2020年1月23日(木)・2月27日(木)・3月26日(木)

お申込・お問合せは
LINE、メール、お電話でどうぞ

主催: Medical*コンシェルジュ
☎090-1481-6551 (留守番)
kawanshiratsin@vokoresist@gmail.com

【活動場所】ハレットかわにし
(川西市市民活動センター・川西市男女共同参画センター)
住所:川西市小石1丁目1-1
*ハレットかわにしへ直接のお問合せは、ご連絡ください



かわにし@まちの保健室

年間予定

2019年度



ママと子どもセミナー

毎月定額10名定員制 予約優先

期ハレットかわにし 日時 10:30~12:00

【参加費】各回1,000円・材料費などの実費あり

- ④4月25日(木) 「自分の発達障がいリポートが読者の不安なことに繋がります」
- ⑤5月23日(木) 「育りとメンタルケア講座」
- ⑥6月27日(木) 「子どもの成長発達と学習のつまずき」
- ⑦7月25日(木) 「子どもの発達障がいと学習のつまずき」
- ⑧8月22日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑨9月26日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑩10月24日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑪11月28日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑫12月13日(金) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑬1月23日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑭2月27日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑮3月26日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」

シニア向けセミナー

毎月定額10名定員制 予約優先

期ハレットかわにし 日時 10:30~12:00

【参加費】各回1,000円・材料費などの実費あり

- ①5月23日(木) 「育りとメンタルケア講座」
- ②6月27日(木) 「シニアの健康と認知症」
- ③8月22日(木) 「シニアの健康と認知症」
- ④10月24日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑤11月28日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑥12月13日(金) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑦1月23日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑧2月27日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」
- ⑨3月26日(木) 「発達障がいと学習のつまずき」

お困りごと相談室

健康・発達について医療従事者がお困りごとの相談をさせていただきます。お気軽にどうぞ。

期ハレットかわにし 日時 10:30~12:00

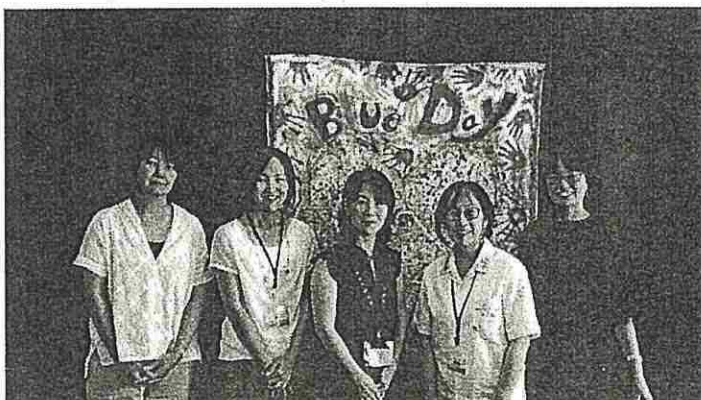
- ①4月12日(金) ⑧1月10日(金)
- ②5月10日(金) ⑨2月14日(金)
- ③6月14日(金) ⑩3月13日(金)
- ④7月12日(金) イベント終了後も受付して
- ⑤8月9日(金) 他日をご希望の場合は、
- ⑥9月13日(金) お問合せ下さいませ
- ⑦10月11日(金)
- ⑧11月8日(金)

分科会

学校でもない、保健所でもない、川西市の街の一角で始めました。

- 育児講座
- 発達障がい講座
- 歯とお口の健康講座
- ツボ講座
- アロマ講座
- 自然療法講座
- 発達障がい講座
- 歯とお口の健康講座
- ツボ講座
- アロマ講座
- 自然療法講座

お問合せ・ご予約 ☎090-1481-6551 (留守番・ショートメール)



団体名 Medical*コンシェルジュ

団体設立 西暦 2018年04月01日

活動分野 子育て支援

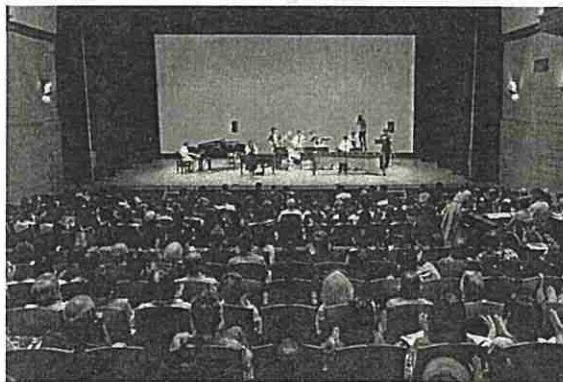
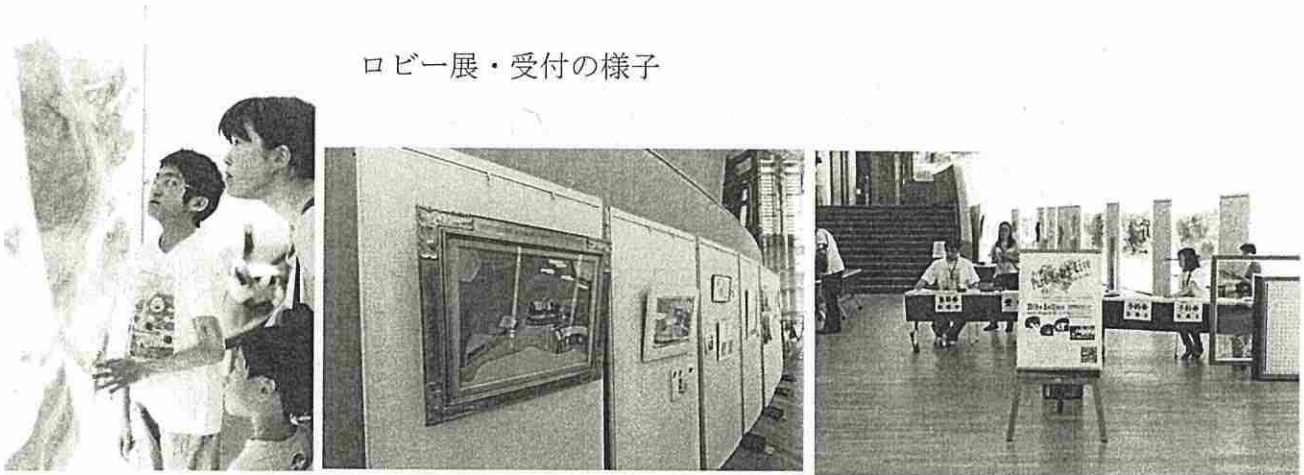
設立目的 少子超高齢化、核家族化、共働き世帯、ひとり親世帯が増える現代社会において、健全に子育てができる環境が難しくなっている。負担はこどもに強いられ、様々な健康問題が露呈している。影響が大きい弱い立場にある母親への心と身体の支援が地域で必要と考え、医療従事者が薬と病院に頼らないことを目標に地域活動に至る。

事業名		(2019 Pure Heart Live ~いのちの音~ 開催)				
団体名	あんさんぶるピアチエーレ			代表	新井 由美子	
協働団体						
活動地域	三田市					
事業の目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害を持つ青年が音楽活動を通じて自己を表現することで自尊心を高め、心豊かな生活を送ることができる。またそれをコンサートという形で表現することで自信を深めることを支援する。 ・幼い障害児を持つ保護者は我が子の将来に不安が大きい。しかしコンサートで同じ障害を持つ年長者の活動を目にすることで、困難の多い子育てに希望を持つことができるよう、支援する。 ・来場した一般の人に障害者に対する理解を深め、広げることを目的とする 					
事業内容	<p>三田市総合文化センター（郷の音ホール）小ホール（定員約350名）において知的障害を持つ青年の音楽コンサートを開催する</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 音響・照明など本格仕様のものを使用し、「入場料を払ってでも聴いてもらえる音楽を演奏すること」を目指す ② チラシ・ポスターなどを作成し、またWEBを通じて、多方面に告知することでグループとしての活動、メンバーの存在を多くの人に知ってもらう ③ 昨年に引き続き開催することで、メンバーの人としての成長、音楽性の向上を知ってもらい、知的障害者の持つ可能性を多くの人に知ってもらう ④ メンバーの活動を見ることで、障害を持つ子どもを育てている保護者が将来に対しての希望や夢を持てるよう支援する ⑤ ロビー展を開催することで、音楽以外の社会参加の方法を啓発する 					
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要		参加人数（人）	
					スタッフ	来場者等参加者
	2018	9		コンサートホールの予約	1	
	2019	4		コンサートの構成・演奏メンバー・キッズコーナーの出演者の決定	6	
	2019	5		チラシ案の作成・後援名義の申請	3	
				ロビー展の計画・プロデュース講師の依頼	5	
	2019	6		Webでの告知開始・チラシ印刷	10	
	2019	7		関係各所へのチラシ配布	10	
				チケット前売り開始	10	
				会場配布物・印刷物などの案作成	5	
	2019	8		会場ホールとの音響・照明についての打ち合わせ	3	
	2019	8	6	リハーサル	10	
2019	8	12	コンサート開催	26	約250	
2019	9	6	アンケート集計・礼状発送・ロビー展作品の整理	6		
2019	10	30	反省会・報告書作成についての打ち合わせ 次年度ホール予約など	6		

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年開催することで、個々のメンバーが自信を持つことができるようになり、自分の人生に積極性や意欲を持つことができるようになってきている。 ・幼い障害児を持つ家族が活動を見ることで、我が子に可能性や夢を持ち、自分の子育てに夢や希望を持つことができるきっかけづくりとなっている。 ・来場した人が障害者への理解を深め、人としてのレスペクトを持って接することができるようになるきっかけづくりとなった。
<p>課題及び今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は助成金をいただかなくては開催が厳しい状態である。今後は助成金に頼らない財政を考えなければならない。本年度は試行的に寄付を呼び掛けたが、うまく浸透せず、大きな金額にはならなかった。来年度以降は協賛なども検討する必要があると考えている。 ・コンサートを見ることで、新しくメンバーに入りたい希望者がいる。メンバーの増加が必ずしも発展につながるものではないので、どのような形に対応していくか検討しなければならない。

(活動状況写真)

ロビー展・受付の様子



ステージの様子



団体名 あんさんぶる ピアチェーレ

団体設立 西暦2013年1月1日

活動分野

設立目的

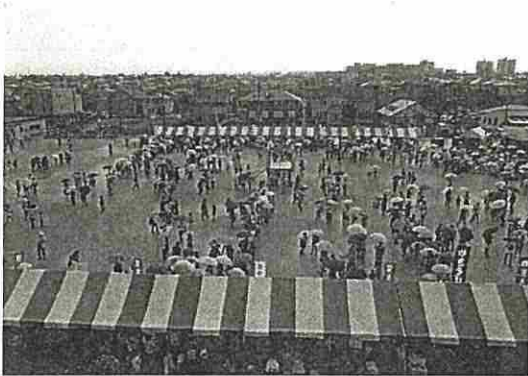
- ・知的障害者の音楽における社会参加
- ・障害児を持つ家族への子育て支援
- ・地域における障害者への理解を深める

事業名 (けやき台夏祭り)

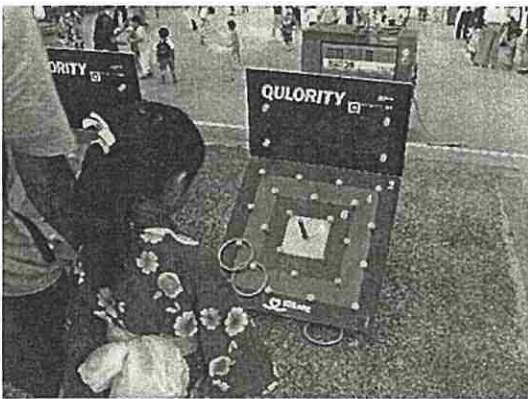
団体名	けやき台自治会			代表	室谷 啓一		
協働団体	けやき台小・中PTA、けやきこどもくらぶ、ふれあい活動推進協議会、けやきクラブ、青少年補導員、スポーツクラブ21 けやき						
活動地域	三田市けやき台						
事業の目的・趣旨	地域の活性化、三世代交流、他の地域との交流、子どもたちの良き思い出、ふるさと作り						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広い世代にとっての「楽しみを増やす」、「参加する」、「集える場を増やす」ことを目指し、盆踊りやステージイベントを中心に魅力の向上を図り、来場者から概ね好評を博してきました。 ・「けやき台夏祭り」 開催日時：令和元年7月27日 14:00~21:00 内 容：ステージイベント、盆踊り、自治会抽選会、模擬店等 						
事業スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要		参加人数(人)	
		スタッフ	来場者等参加者				
	2019	5	11	夏祭り準備委員会：実行委員会に向けての協議	50		
	2019	5	25	第1回夏祭り実行委員会：開催概要、内容の協議	38		
				第1回グループ会議	62		
	2019	6	1	第2回グループ会議	62		
	2019	6	8	第1回連絡調整会議：各グループとの協議・調整	12		
				第3回グループ会議	62		
	2019	6	22	第2回連絡調整会議：各グループとの協議・調整	14		
				第4回グループ会議	62		
	2019	6	29	第3回連絡調整会議：各グループとの協議・調整	13		
	2019	6	30	出店者説明会：	6	36	
	2019	7	7	第5回グループ会議	62		
	2019	7	13	班長・副班長説明会：開催内容、役割分担の確認	205		
2019	7	20	第2回夏祭り実行委員会：当日手順の確認	30			
			第6回グループ会議	62			
2019	7	21	盆踊り練習会	10	20		
2019	7	27	「けやき台夏祭り」開催	146	2800		
2019	8	31	第3回夏祭り実行委員会	68			

<p>事業効果</p>	<p>他の地域から素晴らしい夏祭りと言われ、ふるさと愛が芽生えた。 子どもたちが楽しみ、談笑し、笑顔が見えた。 親子で参加しやすく、若い世代の方が多く来場が多かった。 地域の方々と交流ができ、みんなで協力して盛り上げることができた。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>雨のため、ぬかるみ、ステージが水浸し、車の轍ができた。 →グラウンド整備用に土があれば、苦労しなかった。 食品模擬店が減少したため、順番待ちの長い列ができた。 →出店者数を増やすことが、今後の課題である。</p>

(活動状況写真)



会場全景



模擬店ゲーム



盆踊り

団体名 けやき台自治会

団体設立 西暦 1992 年 1 月 19 日

活動分野 まちづくり

設立目的 本会は、会員相互の親睦と福祉及び健康の増進を図り、明るく住みよい地域社会づくりを推進することが目的である。

事業名 (神戸三田終活フェスタ 2020)

団体名	神戸三田終活サポートセンター			代表	宮脇雅代		
協働団体	三田市、三田市教育委員会、三田市商工会、阪神北県民局						
活動地域	神戸市北区、三田エリア						
事業の 目的・趣旨	終活への理解を深めるため、納棺体験や、相続・家じまい等、家族で終活について話し合える「神戸三田終活フェスタ」を開催する。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終活セミナー勉強会開催 ・ 相談窓口設置 ・ イベント開催 など 						
事業 スケジュール	実施日 (年-月-日)			事業概要		参加人数 (人)	
		スタッフ			来場者等 参加者		
	2019	6	8	打合せ開始	5		
		7	12	打合せ	18		
		9	5	打合せ	18		
		10	12	打合せ	10		
	2020	1	16, 24, 28	打合せ	18		
	2	21	打合せ	18			
	3	29	神戸三田終活フェスタ開催中止	18	80名 (予定 人数)		

事業効果	終活を家族で考えることによって、社会的な目を養うことができ、地域のサポートや見守りなどにも意識が広がるのが期待できた。
課題及び今後の展望	広報の方法や内容(当初予定)に合った業者さんを全ては誘致できなかった。反応は大きいはずなので今後も継続していきたい。

(活動状況写真)

開催を中止したため、写真はなし

団体名

神戸三田終活サポートセンター

◆ 団体設立

西暦 2019 年 4 月 1 日

◆ 活動分野

終活、家じまい等

◆ 設立目的

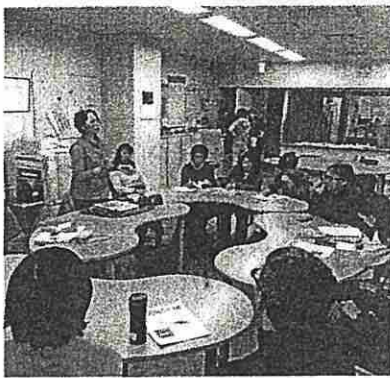
兵庫県内における終活を広くサポートするため。

事業名 (世界自閉症啓発デー、三田ライトアップイベント)

団体名	さんたくろあ		代表	山田 美由紀		
協働団体	三田市社会福祉協議会					
活動地域	三田市					
事業の目的・趣旨	国連の定めた世界自閉症啓発デー(4月2日) 発達障害啓発週間(4月2日~8日)を契機に、三田市における自閉症発達障害の理解を推進。 障がいのある人もない人も自分らしく、自立と社会参加が出来る共生のまちを目指す。					
事業内容	さんたくろあメンバーからLIUB三田実行委員会を組織し、三田市内の多くの作業所・事業所を説明し回り、協働等附と募った。 自治体商工会、まち三田を盛り上げ隊、つどからライト協力を得る。 三田福祉協議会と連携し、福祉フェスティバルを同時開催し、 「LIGHT IT UP BLUE 三田」 開催日時: 2019年4月2日~8日(ライトアップ) 2019年4月6日 13:00~18:30(ステージイベント、福祉フェスティバル) 開催場所: 三田市総合福祉保健センター駐車場 内容: ナルヒライトアップ、ステージイベント、フェスティバル 参加者: ステージ出演者、福祉関係者、一般見学者、福祉フェスティバル等 約1,000名					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)		
	2018	11	10	第1回LIUB三田実行委員会 開催概要 開催体制の協議	9人	20人
		11	25	第2回実行委員会 イベント内容協議	4人	
	2019	11	27	施設団体連絡会102、LIUB三田開催説明会 出演 謝	4人	
		12	8	第3回実行委員会 有馬富士ビルネーション見学、電音課打合せ	14人	
	2019	1	12	第4回実行委員会 イベント内容の詳細協議	8人	
		2	6	後援会依頼、三田市、三田市教育委員会、福祉協議会	2人	
		2	9	(ハニ-FM) 第5回実行委員会 参加団体とステージイベント打合せ	11人	
		2	12	トラックステージ、音響、出演者打合せ	5人	
		3	3	三田緑のフェスティバル	2人	
		3	4	校長会12各学校にチラシ配布お預り	2人	
		3	9	第6回実行委員会 各学校センターのフェスティバル(2階) E台右側配布	11人	
		4	1	ライト設置	5人	
		4	2~8	ライトアップ	-	
		4	6	ステージイベントとフェスティバル	60人	
4		9	片付け	5人		
4		13	報告、お礼状打合せ	14人		
4		25	白紙報告作成	2人		

事業効果	イベント当日は、約1,000名。ステージ参加者団体中5団体は障がい者とサポートチームで盛り上げ、同時開催の福祉フェスティバルも10団体と過去最高数だった。ライトアップの1週間も市民を癒し、神新聞にも大きく取り上げられた。発達障害に対しより多くの人に関心を持って福祉の観点から支援成果をあげた。
課題及び今後の展望	三田市を中心とし、両神郡まで広がる。関係機関と連携を深め、広報にも力を入れたい。参加者と参加団体の裾野を広げ内容を充実させる。LIGHT IT UP BLUEを定着させる。行ノ5下部を、中学校に配布した関わりやすさの提供が期待された。今後子供にも関心をもたせイベント化していきたいと思う

(活動状況写真)



第1回運営委員会



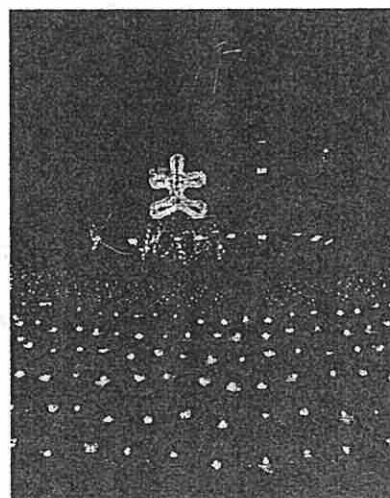
J.COM & ハニーFMにて告知宣伝



イベント風景



モニュメント設営



ライトアップ風景



メンバー集合写真

団体名

さんたくろあ

団体設立

西暦2018年3月24日

活動分野

障がい者支援団体

設立目的

障がいの有無に関わらず「生きること」を共に楽しみ高め合うことで障がいのある人の社会参加と障がい者スポーツの環境づくりに寄与することを目的とする。

事業名 (下槻ふれあい祭)

団体名 三田市下槻瀬区 代表 森脇 範之

協働団体

活動地域 三田市下槻瀬

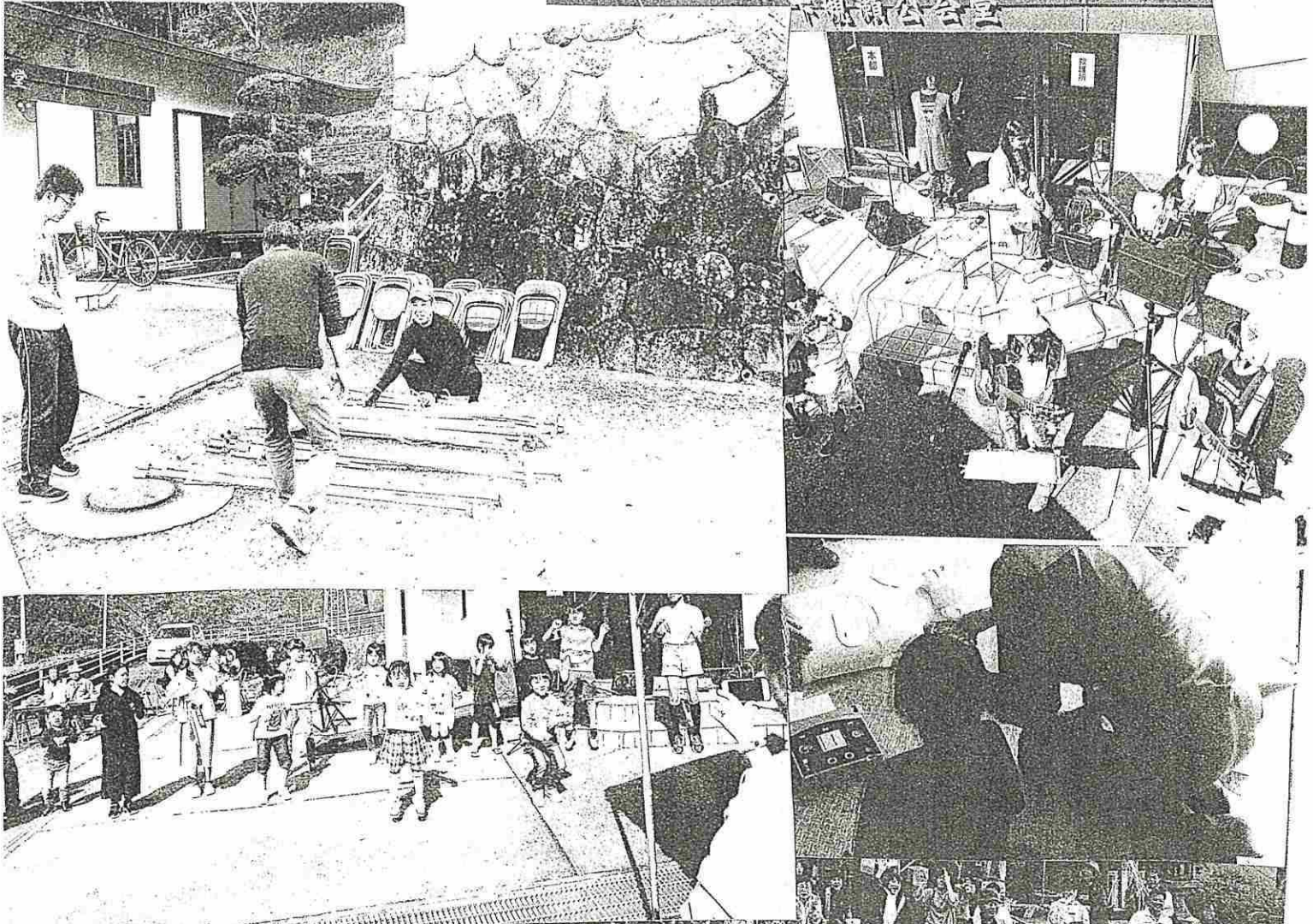
事業の目的・趣旨
 当地区は 農村部の旧地区 55世帯と新興住宅地区 100世帯の混在した自治区で普段は年2回の地域美化活動と敬老会の開催のみで地域交流の場が今更にく。今回住民が親睦を深める貴重な機会を作るため開催する。

事業内容
 催し物プログラムとして、子供会のダンス、ギター演奏の口の落語、市消防本部の AED、心肺蘇生術の講習を行う。また、広場では、模擬店を設け、焼きそば、フリット、焼き鳥、飲み物、そして子供向けにヨーヨー釣り、スパーボールなどを行う。

事業スケジュール	実施日 (年-月-日)			事業概要	参加人数 (人)	
	年	月	日		スタッフ	来場者等参加者
	1	10	26	会場設置... ティー、机、椅子 放送設備搬入	14	
	1	10	27	今回「下槻ふれあい祭」開催 あとがけ	20	100
					25	

事業効果	<p>第1回開催で約100名の若若男女の区民が参加し 10時から14時までプログラム進行にも参加して農村部 と新興住区部が親睦を深める貴重な機会か で至り。</p>
課題及び今後の展望	<p>運営に係るスタッフの充実と、プログラムの内容検討 会場での交通手段の確保(巡回車の手配) これにより多くの参加者の増加策を検討する</p>

(活動状況写真)



団体名

三田市下野川

団体設立

西暦 年 月 日

設立目的

地域の相互の連絡、関係、
機関並びに各団体との連絡を強にし
以て区の発展と区民の福祉の増進を図るために
共同活動を行う

- ・地域女性、子供
- ・人権啓蒙
- ・子供の健全育成

事業名 (少子化対策事業 (第9回大人の婚活パーティー))

団体名	三田市商工会女性部		代表	部長 酒井 陽子		
協働団体	共催：三田市					
活動地域	三田市					
事業の目的・趣旨	<p>少子化による人口減少、都会への若者流出の為の労働人口の低下等の諸問題を解決する一助として、独身男女の交流の場を提供し、将来的に三田市並びに兵庫県内全体の人口増加や定住化に繋がります。</p> <p>加えて、地域内及び周辺の事業所へ案内をすることで、雇用の安定化と、後継者不足の解消にも繋げ、ひいては兵庫県全体の経済振興に寄与することを目的とします。</p>					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三田市内に在住、在勤等の独身男女に向けての出会いの場を提供する年齢層については、20代～40代後半とする。 ・会場は、三田市2号庁舎並びに風の広場を利用（当日、雨天により屋外イベントは縮小）し食事会場は三田市役所1階のさんさん食堂（地産地消を掲げている地元飲食店が運営）で行い、地元の食材を利用したものを提供する（飲食代は参加者負担） ・婚活パーティーの具体的な内容については、次のとおり。 <p><イベント内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶（女性部長挨拶、副市長挨拶） ・オリエンテーション（趣旨説明等） ・自己紹介タイム ・フリータイム ・カップリング <p>※イベントにおいて自己PRすることで、参加者の自己啓発も兼ね個人の資質向上につなげた。</p> <p>※フリータイムに民族音楽のコンサートを実施した。</p> <p>※カップリングした参加者に、三田市内の飲食店のペア食事券を贈呈した（事業所協賛）これにより、三田市へ再度訪れて頂く事ができ市内在住の方には改めて三田市内の良さをPRできた。</p>					
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)		事業概要		参加人数(人)	
					スタッフ	参加者
	5	15	・第1回婚活事業委員会（日時、場所、内容を協議）		4	
	6	11	・第2回婚活事業委員会 ※日時、場所、予算、補助金申請を協議		9	
	7	2	・第3回婚活事業委員会 ※予算協議、参加資格、広報（参加者募集）		8	
	1	7	29	・第4回婚活事業委員会 ※イベント内容の協議、広報	8	
		8	28	・第5回婚活委員会 ※イベント内容、チラシ完成、HPでの告知	8	
		9	1	・参加者募集（チラシ配布、ネット募集、メール）		
		9	10	・9月理事会 ※事業内容承認	14	
		10	4	・会場打合せ	5	
		10	8	・10月理事会 ※実施内容、人員配置等の調整、現地調整	14	
	10	15	・準備作業	10		
	10	19	・事業実施 参加者 66名（男性 34名、女性 32名）	15	66	

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の参加予定者 60 名（男女各 30 名）であったが、好評で予定人数より上回った。次に 4 組のカップルが成立した。 この 4 組が順調に行けば、三田市内に定住する可能性が高く、本体の目的である、少子化対策、定住化対策が達成できる。 また、地域の事業所にも就労する可能性があり雇用促進に繋がる。 ・参加者の多くより、今後の事業継続、参加要望があることから本事業の有益性があり、女性部活動の広報にもつながった。 ・参加者の多くが市内の在住者並びに在勤者が多く、市内には出会いの可能性が高く、良い人員がいること、加えて、当日は、地産地消をモットーにしている三田市内事業所が運営している店舗で飲食をしたため、地域の PR が出来たこと、参加者からクチコミで広がる可能性もあり、今後の地域内への引き込みも期待できる。 ・三田市の共催を得たことから、今後も行政の取組みと伴走して少子化対策解決のための事業が展開できる。 ・地域の小規模事業社者の配偶者並びに女性経営者が主体的に運営した事から、今回参加して上手く行かなかった者でも、今後、相談する相手が増えたことにより、好転する機会を得ることが出来た。
<p>課題及び今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報が多く、参加者の後追いの扱いが非常に難しい。 ・次年度以降の開催要望が多いが、今回、参加した者がリピーターとして参加が多いとなると参加人員の絞込みが難しいと考えられる。 ・年齢層を下げるべきか、40 前後の者の参加を増やすべきかの判断が難しい ・地元地域の紹介、地元企業の紹介、定住等の情報発信をもっとすべきであるが、参加者の目的とのギャップを埋める必要がある

(活動状況写真)



団体名 三田市商工会女性部

団体設立 1974 年 2 月 14 日

活動分野 まちづくり

設立目的 三田市商工会女性部は、市内の商工業に従事する女性の特性を生かし、相互理解と協調精神に基づいて、自主的活動を行なうとともに商工会の事業に協力し、三田市における商工業の振興発展に寄与することを目的とします。

事業名 (市民活動まつり)

団体名	市民活動まつり実行委員会			代表	清水浩一	
協働団体	兵庫盲導犬協会、認定 NPO 法人神戸国際占術協会、高平郷づくり協議会、(特非)しゃべろ一よ					
活動地域	兵庫県三田市					
事業の目的・趣旨	イベントとして一般の方に楽しんでもらいながら市民活動、ボランティア活動を広く知ってもらいその活動を次世代につなぐ。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム内容 市内で様々な形の活動があることを次世代に周知するため、子育て世代にむけた講演会や三田市から補助金を受けている高校生の活動発表、市立中学校への横断幕作成の依頼、占いなどまずは来場者が興味を持てるような内容を企画した。 ・協働団体の増加 事業に関わって頂く団体を増やした結果、来場者数の増加に繋がり少しでも多くの方に「市民活動」について知っていただける機会となった。 ・「市民活動まつり」 開催日時：令和元年12月8日(日)11:00~16:00 開催場所：三田市まちづくり協働センター 内容：市民活動団体等による体験、販売、作品展示、ステージ発表等 参加者：市民など約1,000名 					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要	参加人数(人)	
					スタッフ	来場者等参加者
	2019	5	23	第1回実行委員会 会合	8	
		6	11	参加団体募集開始		
		7	10	参加団体募集締め切り		
		7	18	第2回実行委員会 会合	8	
		8	6	第3回実行委員会 会合	7	
		8	26	第4回実行委員会 会合	8	
		9	27	第5回実行委員会 会合	6	
		10	18	参加団体向け説明会 開催	30	
		11	27	第6回実行委員会 会合	8	
		12	7	前日準備	38	
		12	8	市民活動まつり開催	146	1,000
		12	9	作品展示終了	14	45
	12	20	評価会 開催	13		
	2	21	第7回実行委員会 会合	6		
	3	19	第8回実行委員会 (Web 会議)	4		

事業効果	今回の形に落ち着いて3度目の開催となるが同じ時期に行われるボランティア活動におけるイベントという周知が定着してきていることが実感できた回であった。参加者に関心をもって楽しんでもらうための入り口はそれぞれであるが、足を運んでもらうことで市内の様々なボランティアについて知っていただけたと思う。
課題及び今後の展望	集客において一定の成果は挙げられたが参加者が一体どのくらいボランティアに対しての理解を持ってかえられたのか、次回開催では参加来場者に向けてもっと明確なメッセージを提示していきたいと思う。また複数のボランティア活動と子供食堂などの地域活動をつなげたテーマで開催したいと思っている。

(活動状況写真)



団体名 市民活動まつり実行委員会

団体設立 西暦 2014 年 8 月 1 日

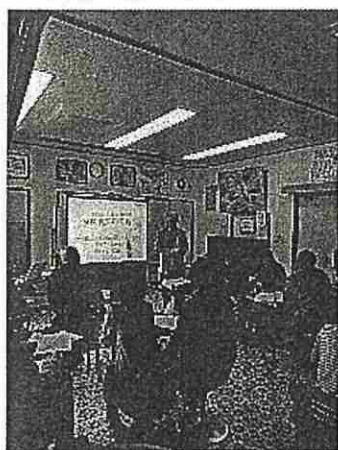
活動分野 まちづくり

設立目的 個々に活動しているボランティア団体がひとつとなり、広く一般の方に活動内容を知って頂きボランティア活動を身近に感じて頂くためのイベントである「市民活動まつり」を開催するために本会を設立。

事業名		(三田有機農業教室)					
団体名	高平郷づくり協議会			代表	岡田 秀紀		
協働団体							
活動地域	三田市高平地域						
事業の目的・趣旨	2017年以來、環境にも人にも身体にも安全で良質な野菜作りに取り組んでみたい方々を対象に有機農業講座を開催してきました。しかし、これらの講座に参加し続けてきた人たちの中から、是非、毎月の実践的な有機農業教室を開催して、もう少し基本的な畑の作り方や鍬などの道具の使い方などから学びたい、そしてもう少し多彩な野菜も作ってみたいという意見が寄せられました。そこで、高平郷づくり協議会として、今年までの2回の講座に加えて、発展的活動である「ふるさと楽農部」として毎月の有機農業教室を開催することにしました。						
事業内容	<p>年2回の特別講座 NPO法人兵庫農漁村社会研究所理事長・神戸大学名誉教授、保田茂氏、兵庫県農業改良課参事(環境創造型農業推進担当)・兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科客員教授 西村いつき氏を迎え、有機農業の土づくりと野菜の栽培基礎を学びました。</p> <p>この2回の特別講座に加えて三田市在住の有機農業専門農家、藤本ファーム経営の藤本節代さんを迎えて、毎月畑の実学で多品目の野菜作りと畝立てや鍬の使い方など、畑の基本作業を学びました。</p>						
事業スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要		参加人数(人)	
		スタッフ	来場者等参加者				
	2019	4	23	・2019年度三田有機農業教室特別講座 座学とぼかしづくり 保田茂さんと西村いつきさん		2	15
	2019	5	5	・第一回三田有機農業教室(講師 藤本節代さん) ナスとピーマン苗の定植		2	12
	2019	6	9	・第二回三田有機農業教室(講師 藤本節代さん) さつまいも、黒大豆枝豆、里芋、オクラ定植、除草		2	12
	2019	7	21	・第三回三田有機農業教室(講師 藤本節代さん) 夏野菜管理と収穫、畑周りの除草、鹿除け網設置		2	11
	2019	8	17	・第四回三田有機農業教室(講師 藤本節代さん) 夏野菜管理と収穫、除草。草マルチかけ		2	12
	2019	8	28	・2019年度三田有機農業教室特別講座 座学とぼかしづくり 保田茂さんと西村いつきさん		3	11
	2019	9	16	・第五回三田有機農業教室(講師 藤本節代さん)		2	12
	2019	10	13	・第六回三田有機農業教室(講師 藤本節代さん)		2	11
2019	11	17	・第七回三田有機農業教室(講師 藤本節代さん)		2	10	
2019	12	8	・第八回三田有機農業教室(講師 藤本節代さん) 各回、子ども(幼児から中学生2人から6人参加)		2	12	

事業効果	<p>年2回の特別講座で有機農業の基本を学ぶ機会に加えて、今年度は毎月の畑実習を入れることにより、参加者の技術向上と更なる野菜作りへの関心を醸成しました。</p> <p>幼児や小、中学生も参加して土に親しんで、無農薬なので、畑で実際に野菜をかじったり、実際に鍬を持って土寄せをしたりして土に親しむことができました。</p> <p>また阪神間の色々な地域からの人たちの繋がり場づくりともなり、参加者同士の仲良しの輪が広がりました。</p>
課題及び今後の展望	<p>これまで3年間講師に来て頂いて耕作放棄地活用の有機農業の野菜作りを行ってきましたが、今後は講師無しで、自立した形で、有志で共に知恵を出し合いながら耕作放棄地を活用してのシェア畑の野菜づくりは今後も続けていくことになり、更に多くの人を募集して、都市部住民と地元住民の、あるいは多年齢間人たちの交流の場づくりの活動を継続していきます。</p>

(活動状況写真)



団体名

高平郷づくり協議会

団体設立

西暦 2015年 6月 日

活動分野

地域活性化、伝統技術の伝承、地域コミュニティづくり

設立目的

高平郷づくり協議会は住民が広い視野に立ち、自らの発言と行動に責任を持ち、地域の将来像を考え、その実現に向けて行動することに依って、互いに助け合い、安心して暮らすことのできる地域を形成していくことを目的としています。

事業名 (こうべさんだ子ども能楽塾)

団体名	能楽と郷土を知る会	代表	吉川 真梨		
協働団体	(なし)				
活動地域	兵庫県三田市				
事業の目的・趣旨	<p>摂津国有馬郡(現在の兵庫県三田市から神戸市北区)において、室町時代、八子大夫と呼ばれる能役者が勧進興業を行った記録がある(『蔭涼軒日録』文正元年[1466]閏2月)。八子大夫は、江戸時代の地誌『丹波志』によると、8歳で能を演じて領主に認められ、八子を芸名としたとされる。この故事にちなみ、昨年夏休みに開催した「さんだ狂言子ども教室」を、さらに発展させ、秋から春にかけて継続する形で開催する。三田市に子どもの能楽を定着させ、知識ではなく体感することで、地域の歴史への関心を高め、地元愛をはぐくむことを目的とする。また人前での発表を行うことで、学んだことを発信していく姿勢を体感する。</p>				
事業内容	<p>小中学生対象の能楽(能・狂言)教室を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年9月～2020年3月の予定(夏休み期間は2018年に引き続き、文化庁伝統文化親子教室事業として集中稽古および発表会を開催。その後、引き継ぐ形で定着を目指す) ・頻度は月2回 ・会場は三田市フラワータウン市民センター和室 ・能楽協会大阪支部よりプロの能楽師を招き、稽古を行う ・3月度には地域内のホールにおいて、発表会を開催し、成果を披露するとともに、地域への還元を狙う <p>また、三田市桑原・欣勝寺に伝わる民話を元とした狂言《くわばら》の創作を行った。今年度では台本作りが終わったのみであるが、2020年11月に上演の計画を立てている。まずはプロの狂言師による上演を行った上で、その狂言師から地域の子どもたちへの指導を行い、地域の子どもたちによる、地域ゆかりの狂言上演を想定しており、地域に伝えられる新たな伝統の創造を狙う。</p>				
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)	
				スタッフ	来場者等参加者
	2019	7	25	2	
	2019	9	22	2	11
	2019	10	15	2	11
	2019	10	29	2	11
	2019	11	5	2	11
	2019	11	11	2	11
	2019	12	4	2	11
	2019	12	18	2	11
	2020	1	14	2	11
				2	
	2020	1	23	1	
	2020	1	24	1	
				2	11
2020	1	28	2	11	
2020	2	10	2	11	
2020	2	25	2	11	
2020	3	10	2	11	

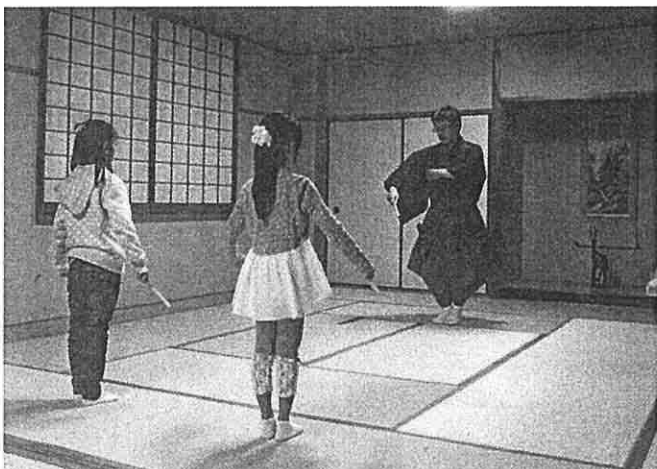
	2020	3	13	稽古・発表会場利用停止通知到着、緊急企画会議（オンラインにて、稽古・発表会中止決定）	1
	2020	3	14	関係施設を訪問、チラシ回収・掲載撤回依頼	1
	2020	3	17	子ども能楽塾稽古日（中止）	
	2020	3	22	企画会議（中止の後処理）	2
	2020	3	28	子ども能楽塾発表会（中止・会場代は還付）	
	2020	3	31	企画会議（中止の後処理）	2

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化等への関心を高め、地域に伝わる伝統文化等の活動に子どもたちが参加することで、伝統文化等が後世に伝わること ・ 子どもたちを通して、親世代の伝統文化等への関心を高めること ・ 子どもたちが、伝統文化に付随して礼儀作法を身に着けること ・ 他地域からの流入者が多い神戸三田地域において、伝統文化を体感することで地域の歴史に関心を持ち、地域への愛着心を持つこと。
<p>課題及び今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場の使用停止を受けて、発表会が開催できず「人前で披露する」「地域への還元」という目的の部分が実施できなかった。また中途半端な状態で突然終了したため、スタッフ・保護者はもちろん、特に参加者の子どもたちが残念な思いを抱くこととなった。 ・ 単発的な事業ではなく定着を目的とした事業として開始したが、現時点では不慣れでもあり、まだまだ不安定である。今度は子どもだけでなく大人も巻き込む形で展開を狙いたい。 ・ 次年度は、今年度台本を完成させた「くわばら(仮題)」のプロ狂言師の手による初披露公演を行い、古典の狂言に基づいた作品として作り上げた上で、その披露を行った狂言師より、地域住民への指導、上演を目指す。

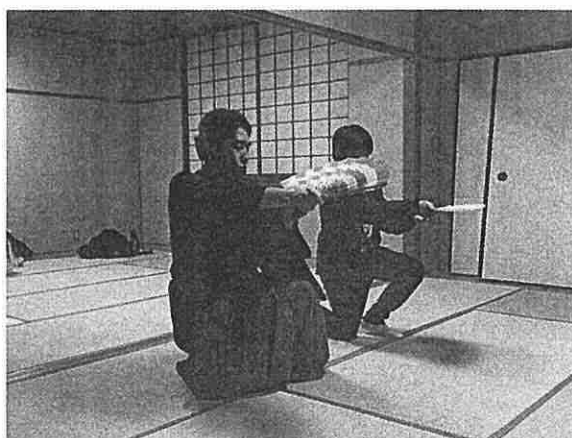
(活動状況写真)



2019/9/22
子ども能楽塾オリエンテーション



2019/12/4 子ども能楽塾稽古日



2020/2/23 子ども能楽塾稽古日

団体名 能楽と郷土を知る会

団体設立 西暦 2016年3月20日

活動分野 芸術文化・歴史

設立目的 能楽は江戸時代には武家の式楽(儀式の際の楽劇)とされ、幕府を始め、諸大名でも盛んに愛好・上演された。「能楽と郷土を知る会」は、それぞれの地域に伝わる、能楽の記録や記憶を掘り起こし、地域の歴史意識と一体にして広めることを活動目的とする。

事業名 (**はたけであそぼ!**)

団体名	フラワー地区ふれあい活動推進協議会 武庫小校区	代表	大槻 剛				
協働団体							
活動地域	三田市武庫が丘 武庫小校区内						
事業の目的・趣旨	<p>多世代や親子を対象にして、新たな事業として「はたけであそぼ!」を実施。農家の休耕田を借用し、参加者と共に季節に応じた野菜を育て、育成の勉強や不思議を感じながら、作る楽しみや収穫を楽しむ。</p> <p>また、収穫した野菜で“おやこクッキング”等を開催し、自分の世話した野菜の味を味わう。</p>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の休耕田を利用・借用する。 ・関西学院大学総合政策部：都市研究会の学生チーム「三田を知ってもらい隊」と内容が合致、協力・コラボして開催。 ・季節ごとの野菜を作り、成長過程の勉強や自然とのふれ合い、収穫野菜の味も楽しみ、併せて多世代参加者同士の交流も体験する。 						
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)			
				スタッフ	来場者等参加者		
	2019	5	25(土)	さつまいもの苗植え、夏野菜の苗植え	7	15	
		6	29(土)	じゃが芋掘り&収穫 (※お試しで先に植えたところ出来が良くて実施)	6	12	
		7	26(土)	夏休み親子クッキング「カレーづくり」	8	24	
		9	28(土)	さつまいも畑の草抜き	12	3	
		10	20(日)	さつまいも掘り	10	28	
		11	20(水)	玉ねぎの苗植え	6	4	
			21(木)	〃	4	0	
		12	7(土)	水菜の苗植え	6	0	
		2020	1	25(土)	春の植え付け準備(畑を耕す)	5	0
			2	1(土)	〃 (〃)	3	0
			3	13(金)	〃 (畝作り)	2	0
			14(土)	じゃが種芋植え	6	0	
	15(日)		〃	6	0		

事業効果	<p>親子で苗植えから収穫まで体験し、成長過程を知って農業の楽しさを体験する。 野菜を作る楽しさを体験し、収穫した野菜を調理しておいしさを味わう。 気象条件による不作となった場合、参加者と共に地球の温暖化など環境問題への気づきと改善を考えるきっかけとする。 豊作で余剰野菜が出れば、地域の野菜市やボランティアグループに販売し、次回の種・苗・肥料等の購入資金とし、生産と流通の勉強体験ができる。</p>
課題及び今後の展望	<p>① 事業を外部（全天候型）で実施するため、天候の影響を受ける。 ② 野菜を育てるにあたり、畑の特性で向き不向きの野菜があり、今後の参考とする。 ③ 収穫イベントの参加者は多いが、畑を耕す・草抜き・苗植えなどには参加が殆ど無くスタッフの負担が大きい。今後はスタッフの増員を図るか、参加者が多くなる魅力ある事業内容の検討が必須である。</p>

(活動状況写真)

* 収穫したじゃが芋・きゅうり・トマトを使って…「夏休み親子クッキング カレーづくり」



団体名 ふれあい活動推進協議会 武庫小校区

団体設立 西暦 2007 年 4 月 1 日

活動分野 子供の健全育成・地域まちづくり

設立目的 「福祉でまちづくり・地域づくりを推進する」
 ・見守り、つながり、支え合い、を重点項目とする。
 ・地域が高齢化していく中で、日々の生活の困ったを解消するため、地域交流の場を提供するとともに支援活動に取り組む。

事業名 (郷土史井戸端会議「三田の民話めぐりバスツアー」)

団体名	ボランティアさんだガイド塾		代表	平井重次		
協働団体	三田市図書館					
活動地域	三田市内					
事業の目的・趣旨	三田市の歴史を学び三田の魅力を理解し多くの人たち(市民)にも発信し郷土愛を育み新旧住民の交流を図りより良い街づくりを目指す。					
事業内容	<p>三田市図書館で三田の歴史をテーマに歴史井戸端会議を開催。 三田に残る民話を辿り昔の暮らしや国・県・市指定文化財等を見聞きすることでより歴史ある三田を認識して頂ける様バスを使って一日掛けて市内を回る三田民話の里巡りを実施。 三田の変わったお祭りなどの見学(加茂神社の火祭り) 市内の老人会・高齢者の集い等で三田の民話・方言・風習などの話。 幕末に三田を治めた九鬼家のルーツを訪ねてと題して鳥羽にバスでの研修。</p>					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要	参加人数(人)	
					スタッフ	来場者等 参加者
	19	4	9	三田図書館で歴史井戸端会議 三田の五名山	6	43
	19	4	15	高平地区高齢者の集い 三田の民話と昔話・方言	5	33
	1	5	14	市内 一般市民 百姓一揆足跡を辿る	4	22
	1	6	11	三田市図書館で井戸端会議 朝鮮出兵	5	38
	1	7	9	三田市図書館で井戸端会議 三田の水の歴史	6	39
	1	8	4	あかしや台コミニティーセンター 老人会 民話・昔話	5	35
	1	8	13	三田市図書館で井戸端会議 三田の戦争時の話	6	47
	1	9	6	大川瀬地区高齢者の集い 民話と昔話	5	29
		9	10	三田市図書館で井戸端会議 三田の水の歴史2	6	43
		10	8	三田図書館歴史井戸端会議 三田のパワースポット	7	45
		10	16	高次地区高齢者の集い 民話・方言	5	31
		11	13	九鬼家のルーツを訪ねて 鳥羽にバスで研修	11	32
		12	3	民話の里巡り 三田市内	4	17
	12	10	三田市図書館で井戸端会議 朝鮮出兵2	6	31	
	12	11	民話の里巡り 市内	4	17	
	20	1	14	三田市図書館で井戸端会議 埋蔵金と金の鶏	9	37
	20	2	11	三田市図書館で井戸端会議 迷信と言い伝え	7	35

<p>事業効果</p>	<p>三田市民の方々に歴史・文化を発信し、郷土史に魅力を感じより多くを学びたいという意見が多くあり、民話だけでなく他にも歴史・文化にかかわる所があればこの様に教えて欲しいとの、声が多くあり、今後もこの様な活動を通して三田の歴史・文化に触れて頂き、郷土愛を育んでいきたいと思ひます。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>民話の里巡りだけでなく、もっと他の歴史・文化を知りたいとの意見が多くあり、これからも、民話の里巡りだけでなくいろいろな方法で三田の歴史・文化を発信し郷土愛を抱いて頂ける様活動していきたいと思ひます</p>

(活動状況写真)

団体名

ボランティアさんだガイド塾

団体設立

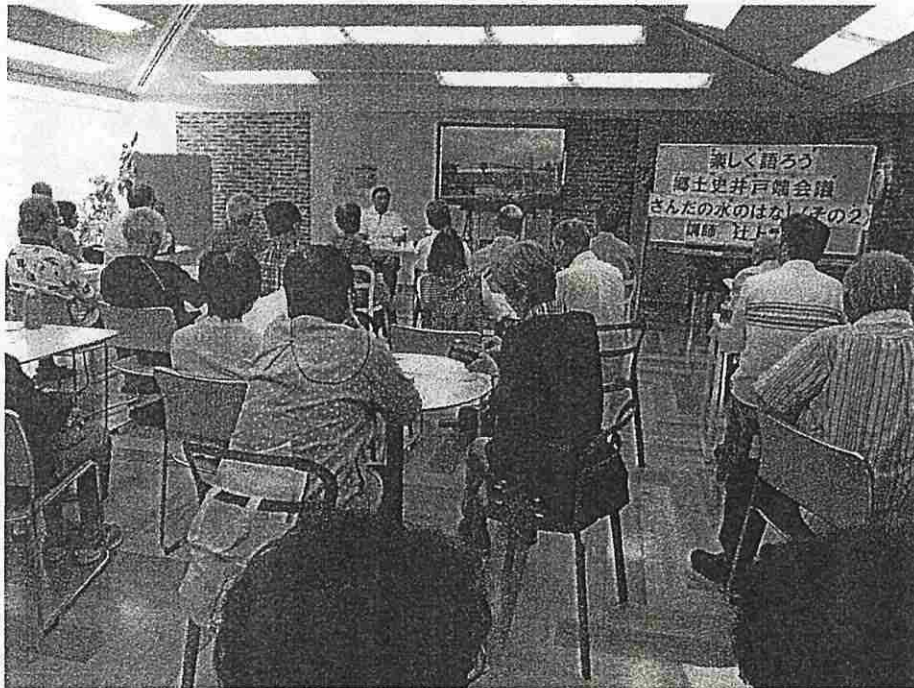
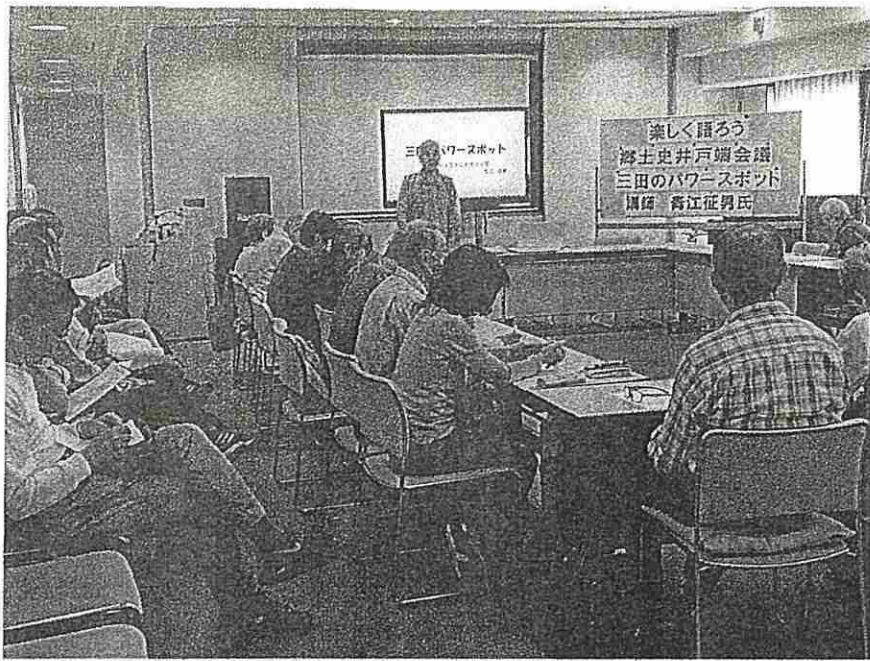
西暦1998年12月8日

活動分野

まちづくり

設立目的

三田の新・旧住民の交流と相互理解を深め、より良い街づくりを目指す。



三田民話の里巡り



高売布神社の社号石



国宝木彫りの狛犬
高売布神社所蔵



金心寺の門前町として三田が出来た



御霊神社の夜泣き石



三田市文化財弘法大師行状図絵
感応寺所蔵



閻魔王宮から持ち帰った曼荼羅

事業名 (いきいき☆フェスタ「いってみよう!やってみよう!!」)

団体名	NPO 法人いきいき元気倶楽部		代表	渡邊 紀恵		
協働団体	猪名川町社会福祉協議会					
活動地域	猪名川町					
事業の目的・趣旨	<p>介護予防活動の推進の為のイベント。昨年度は開催場所を猪名川町の中心で行った。対象が高齢者ということもあり会場へ出向くのが困難という昨年の課題を受け、南部・中央・北部の3ヶ所へ出向いての開催。</p> <p>3ヶ所で日・曜日・テーマを変えて開催。講演会と体操タイムの二本立てで構成。</p>					
事業内容	<p>・ 広報活動 猪名川町・猪名川町社会福祉協議会と連携を取り、チラシ町内全戸配布及び広報誌掲載</p> <p>・ 地域に出向いての講演・実技体験を実施。</p> <p>3か所 開催</p> <p>10月26日(土) 13:30~16:00 イナホール(小) 100名 ☆テーマ 免疫力アップで健康長寿にスイッチオン!</p> <p>11月7日(木) 13:30~16:00 日生公民館 50名 ☆テーマ 血流改善で健康長寿にスイッチオン!</p> <p>11月19日(火) 13:30~16:00 ふらっと六瀬 50名 ☆テーマ ながら運動・認知機能アップ健康長寿にスイッチオン!</p> <p>・ タイムスケジュール 13:00 受付開始 13:30 講演会(管理栄養士) 14:40 体操タイム(インストラクター) 15:40 フリータイム(体験測定コーナーなど)</p> <p>・ 参加費無料・予約申込</p>					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要		参加人数(人)	
					スタッフ	来場者等参加者
	1	7	9	実行委員会①イベント概要・体制の打合せ	2	
		8	1	協働団体との打ち合わせ①内容協議	2	
		6	6	実行委員会②イベント内容詳細・インストラクター手配	2	
		8	8	協働団体との打ち合わせ②イベント内容詳細・会場手配 チラシ作成打合せ・体験コーナー	1	
		9	10	実行委員会③チラシ作成	2	
		10	1	広報活動開始・予約受付		
		3	3	協働団体との打ち合わせ③当日の配置・内容・体制確認	1	
		8	8	実行委員会④当日の準備物用意	2	
		2	4	協働団体との打ち合わせ④最終確認	1	
		2	6	いきいき☆フェスタ「いってみよう!やってみよう!!」開催	10	100
		2	9	実行委員会⑤改善点確認	2	
		1	1	協働団体との打ち合わせ⑤最終確認	1	
	7	7	いきいき☆フェスタ「いってみよう!やってみよう!!」開催	8	50	
	1	2	実行委員会⑥改善点確認	2		
	1	9	いきいき☆フェスタ「いってみよう!やってみよう!!」開催	10	50	
	2	6	実行委員会⑥実施報告書作成	2		

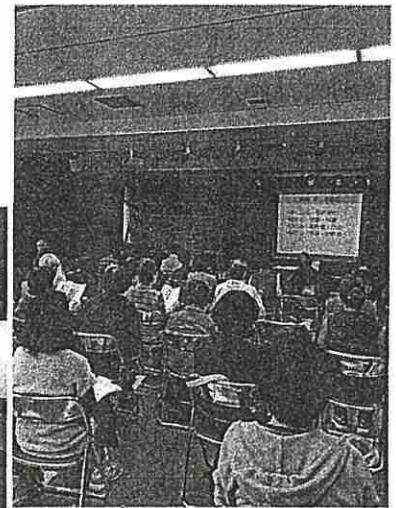
<p>事業効果</p>	<p>南部・中央・北部の3ヶ所の中で身近な場所に設定して開催。まずは足を運んでもらうことが重要なので、告知の方法として、社協だより・猪名川町広報誌への掲載と共にチラシを配布、これにより多くの方に周知してもらうことができた。</p> <p>健康長寿に対して運動だけではなく食・栄養についても講演・体験を実施。</p> <p>講演内容もテーマを絞り込み、食・栄養と運動をあわせた内容</p> <p>地域高齢者に精通している社会福祉協議会との連携を取り合うことで地域状況にあった事業となった。2年間の連続開催により関心や意識は高まってきている。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>今回は補助事業で開催ができたが、来年度から自己資金での開催が課題となる。</p> <p>より一層、介護予防や健康長寿への関心を浸透するためには定期的な開催を継続的に行っていきたい。</p>

(活動状況写真)



講演・体操

10月16日イナホール

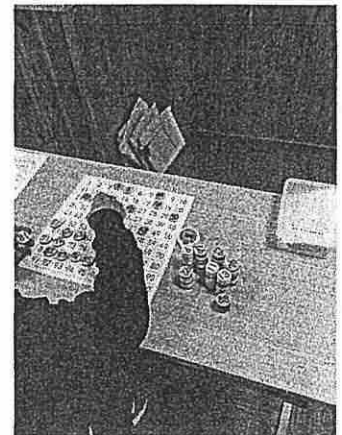


11月7日日生公民館

イベント チラシ



11月19日ふらっと六瀬



体験コーナー

団体名 NPO 法人いきいき元気倶楽部

団体設立 西暦2016年 4月 25日

活動分野 保健・医療・福祉・スポーツ

設立目的 地域の高齢者に対して、介護予防・生きがいに関する事業を行い健康長寿力を高めいきいきと毎日を過ごしていただきたいとの思いで、地域に「チェアトレーニング」指導者派遣を実施

事業名 (三矢の儀式～ありがとう復活祭～)

団体名	三矢の儀式保存会		代表	会長 谷 清			
協働団体	猪名川町 民田自治会						
活動地域	猪名川町民田						
事業の目的・趣旨	<p>民田地区にあります民田八幡神社で行う、江戸時代から続く伝統行事「三矢の儀式」(猪名川町指定無形民俗文化財)について、その魅力と意義を後世に伝え、伝統を守り繋げていく礎とする。</p> <p>また、昨年度損壊し儀式が行えなかった神社へ多数の寄付金応援をいただいたことへの感謝を伝えるとともに、一度は途絶えた伝統が地域住民の願いで見事に復活した姿を広く知らせ、同じように高齢化・過疎化する地域へ夢と希望を伝えたい。</p>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の設置/運行バスの実施 神社近隣に駐車場及び公共交通機関がないため、臨時駐車場を確保し、バスを運行。 ・地域他団体による出店(昭和初期の三矢の儀式の様相を復元) 各種団体へ協力要請した結果、猪名川甲英高等学院(コロッケ)、有志団体(おでん、スープ、コーヒー、紅茶、射的)により、計3店舗、出店が実現。 ・来訪者等への儀式内容、伝統の紹介 広報活動として、のぼり・チラシ・ポスターを製作し、儀式復活の周知活動を行った。また、儀式当日は司会者を設け、各儀式の説明ならびに伝統なども紹介。 ・「三矢の儀式ありがとう復活祭」 開催日時:令和2年1月6日 10:00~12:00 開催場所:川辺郡猪名川町民田宮前233 民田八幡神社 内 容:神官によるお祓い、盃の議、千本矢の飾りつけ、三矢の儀式 参 加 者:来場者、参加者など延べ200名 						
事業スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要		参加人数(人)	
					スタッフ	来場者等参加者	
	1	9	15	第1回会議:実施内容の検討	9	200	
	"	"	28	第2回会議:開催概要/体制/イベントの協議	12		
	"	10	5	第3回会議:のぼり、ポスター、チラシ原案の協議	10		
	"	"	12	第4回会議:のぼり、ポスター、チラシの校正	10		
	"	"	13	全体会:自治会員へのイベント説明、役割分担	16		
	"	"	27	第5回会議:のぼり、ポスター、チラシの最終確認	10		
	"	11	17	第6回会議:復活祭 礼状・招待状など事前準備	9		
	"	12	7	第7回会議:復活祭 招待状の発送準備	8		
	"	"	29	司会者を交えた打合せ	8		
	2	1	4	儀式の前々日準備	16		
"	"	5	儀式の前日準備、会場設営、リハーサル	40			
"	"	6	「三矢の儀式ありがとう復活祭」開催	10			
"	"	31	第8回会議:実施報告書作成	4			

<p>事業効果</p>	<p>広報活動により、江戸時代初期から400年近く続いてきた民田固有の伝統行事「三矢の儀式」を多くの方々へ知って頂く事ができ、広く伝統文化の存在をアピールする事ができた。復活祭当日は晴天に恵まれ、延べ200名が参加。復活を祈念すべく素晴らしい式典となり、ご参拝頂いた皆様方より復活を祝う激励の言葉を多数いただいた。 また今後の運営についても、猪名川甲英高等学院の生徒さん、関係者を含め、地域ぐるみで伝統を守り繋げていく基盤づくりができた。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>地域の高齢化、過疎化が進む中、本伝統文化を継承していく事は大きな課題である。過去からの習わしも重要視しつつ、如何に継続していけるかを考え、儀式への参加者を募集するなど、広くファンを増やし、今後繋がる活動を継続的に実施する。</p>

(活動状況写真)



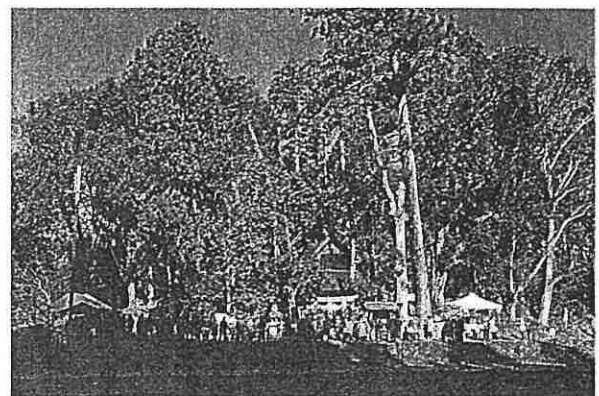
第3回会議



三矢の儀式 前日準備(こべら餅)



三矢の儀式 前日のリハーサル



三矢の儀式 当日

団体名 三矢の儀式保存会

団体設立 西暦2017年12月1日

活動分野 伝統文化の保存と継承

設立目的 町指定無形民俗文化財「三矢の儀式」の保存を図り、文化の振興に寄与する事に取り組んでいる団体です。

事業名 (いながわの森を活用プロジェクト)

団体名	一般社団法人DOOR	代表	車 宏
協働団体			
活動地域	猪名川町		
事業の 目的・趣旨	<p>猪名川町の強みである都市部から近いが、気軽に寄れる「豊富な自然」を活かした事業を実施する。猪名川町は健康長寿の町であり、子育てにも力を入れている町でもあり、老若男女の方にこの地域資源である自然を活用した生き生きを楽しめる機会を作りたい。また都市部の人には、普段の日常から解放された何でもない自然の中で、楽しい時間を過ごして頂きたい。</p> <p>そして、本事業を通じて以下のようなことを提供し、改めて猪名川町の魅力の再発見や活用法を意識して頂く機会にしたいと考えている。</p> <p>1 都市部の皆様へ 提供できること 心身のリフレッシュ 伝えたいこと 猪名川町の存在を知っていただく</p> <p>2 近隣市町の皆様へ 提供できること 心身のリフレッシュ、地域資源の活用法の提案 伝えたいこと 猪名川町はもちろん、各地域の地域資源の魅力の再認識</p> <p>3 猪名川町の皆様へ 提供できること 自ら住んでいる地域資源の再認識 伝えたいこと 気軽に余暇を楽しめる生き生きとした暮らしの提案</p>		
事業内容	<p>猪名川町の玄関口である日生中央駅から徒歩圏内にあり現在活用されていない森林地をこの日限りで利用させて頂き、猪名川町ならではの都市部から近い自然を活用した子供も大人も楽しめる参加体験型の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで持ち寄りバーベキュー（備品はこちらで設置。食材は持ち寄り） ・ハンモックの森 ・マウンテンバイク体験（山の中を自転車で走る） ・ツリークライミング（木登り）体験 ・スウェーデントーチ作り体験 ・原木しいたけ狩り体験 <p>大人・子供合わせて72名の参加があった。</p>		
事業 スケジュール	実施日（年-月-日）	事業概要	参加人数（人）
			スタッフ 来場者等 参加者

	2019	7～		準備開始		4	
	2019	9～10		イベント広報実施		4	
	2019	10	27	イベント実施		4	72

実際に今まで使われていなかった森をうまく活用することにより、多くの人が楽しめる事業を実施することができた。

以下は参加者アンケートからの参加者の声になります。

イベント全般についてのご感想をお聞かせください。

楽しかった ・ 普通 ・ 楽しなかった

26 0 0

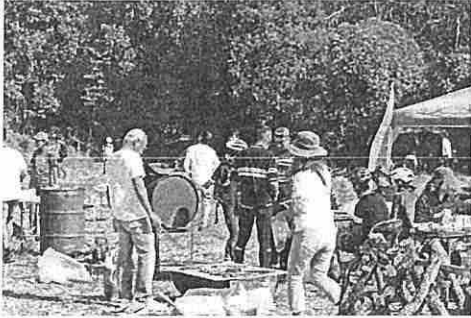
- ・久しぶりに晴れた秋の日の午後。のんびりと素敵な時間を過ごせることができとても良かったです。他の参加者との方との語りも出来たドラム缶コンロ。そしてハンモックの森、スウェーデントーチづくりも楽しかったです。ハンモックでの昼寝は2回目でしたが、今回きれいに整備された森の中でハンモックと遠くから流れる音楽がマッチしてとても心地良かったです。
- ・しいたけ狩り、ハンモック、ドラム缶バーベキュー、スウェーデントーチとどれもリラックスしながら楽しく過ごせました。ハンモックは初めてで木と一緒に風に揺れながら気持ち良かったです。ハンモックで本を読んでみようと思ってきましたが、いろいろ空想している間に時間が経ちました。自然の中で遊びたいと思ってもなかなか準備など第1歩が踏み出せなくてというときにこのような機会を作って頂いて気軽に参加することができありがとうございます。
- ・天気が良くて楽しかった。ピザ窯があるのが良かった。
- ・BBQ コンロの数もう少しあれば。ピザ窯はありがたかったです。
- ・トイレとBBQコンロを設置してくれてとても良かったです。子連れなので、持ち物が少なくてすむと身動きが取れやすくなります。あとアクティビティがこんな値段で良いの？というくらい安価で驚きました。たくさんあそばせて頂きました。ありがとうございます。
- ・MTB、ツリークライミングが楽しかったです。
- ・ツリークライミングを初めて知りました。子供たちが楽しんでいました。これから里山を活用した企画を楽しみにしています。ありがとうございました。
- ・ハンモック楽しかった。思っているよりやってみると欲しくなった。
- ・マウンテンバイクが大きかったので(小3)無理かな？と見守っていましたが、お兄さんがずっとつきあってくれてとても楽しそうに上手に乗っていました。バーベキュー道具を貸して頂きありがとうございました。楽しい一日でした。
- ・木登りが楽しそうだった。しいたけが美味しかった。
- ・孫が楽しそうに遊ぶのが見れて良かった。
- ・まだスペースがあると思うので有効利用してください。
- ・木登り、マウンテンバイクが楽しかった。
- ・ツリークライミングはもっと宣伝してもいいと思う。
- ・BBQする機会があまりないのでとても楽しかったです。市の企画ではないのに、これだけ設備を用意してアクティビティもあるのは素晴らしいなと思いました。
- ・ハンモックで1時間眠りました。久しぶりにリラックス出来た気がします。
- ・身近な場所の支援に触れることができ楽しかったです。
- ・マウンテンバイク
- ・天気も良く自然の中気持ち良かったです。MTBも久しぶりに乗りましたが、ちょうど良いコースで楽しかったです。
- ・ハンモックは初体験、快適でした。
- ・ハンモック体験が素晴らしい、入り口がわかりづらい。

事業効果

課題及び
今後の展望

今後も猪名川町にある地域資源を活用し、地域のPR、人々が楽しめる事業を色々と企画、実施し、地域の魅力発信および地域の活性化に寄与していきたいと思いをます。

(活動状況写真)



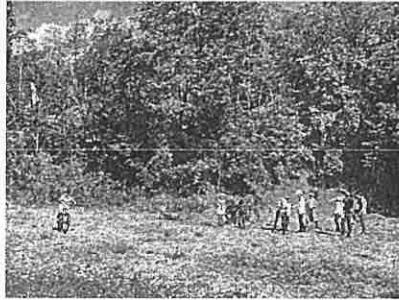
バーベキュー



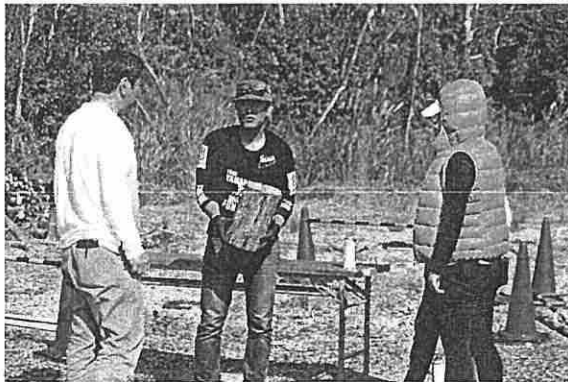
ハンモック



マウンテンバイク



ツリークライミング



スウェーデントーチ



しいたけ原木狩り

団体名

一般社団法人DOOR

団体設立

西暦 2016年5月16日

活動分野

まちづくり、スポーツ、経済活動の活性化

設立目的

猪名川町を拠点とした多様な地域資源を活用し、様々な活動を通じて、地域の活性化に寄与すること